

# 平成23年度第4次補正予算

法務省

## 1 追加額

(単位:億円)

事業名	補正予算額
新たな在留管理制度導入に伴う市町村における業務環境整備 平成24年7月に施行される新たな在留管理制度を円滑に導入するための市町村(334)用の窓口端末の整備	5.2
入国管理局通信ネットワークシステムの更新 全国の入国管理官署を結ぶ通信ネットワークシステム(入管WAN)の情報セキュリティ強化のための更新	1.8
刑事施設緊急整備 老朽コンクリートブロック造の刑務所処遇管理棟の保安警備機能を維持・強化するための建替え	11.9
刑事施設警備機器等主幹システムの更新 経年劣化している東京拘置所の総合監視システム(監視カメラ等の機器で構成)等の保安警備機能を維持・強化するための更新	10.5
庁舎等取壊し 早期に国有財産を財務局へ引継ぐための廃止庁舎・宿舎(15か所)の取壊し	1.6
合計	31.0

## 2 修正減少額

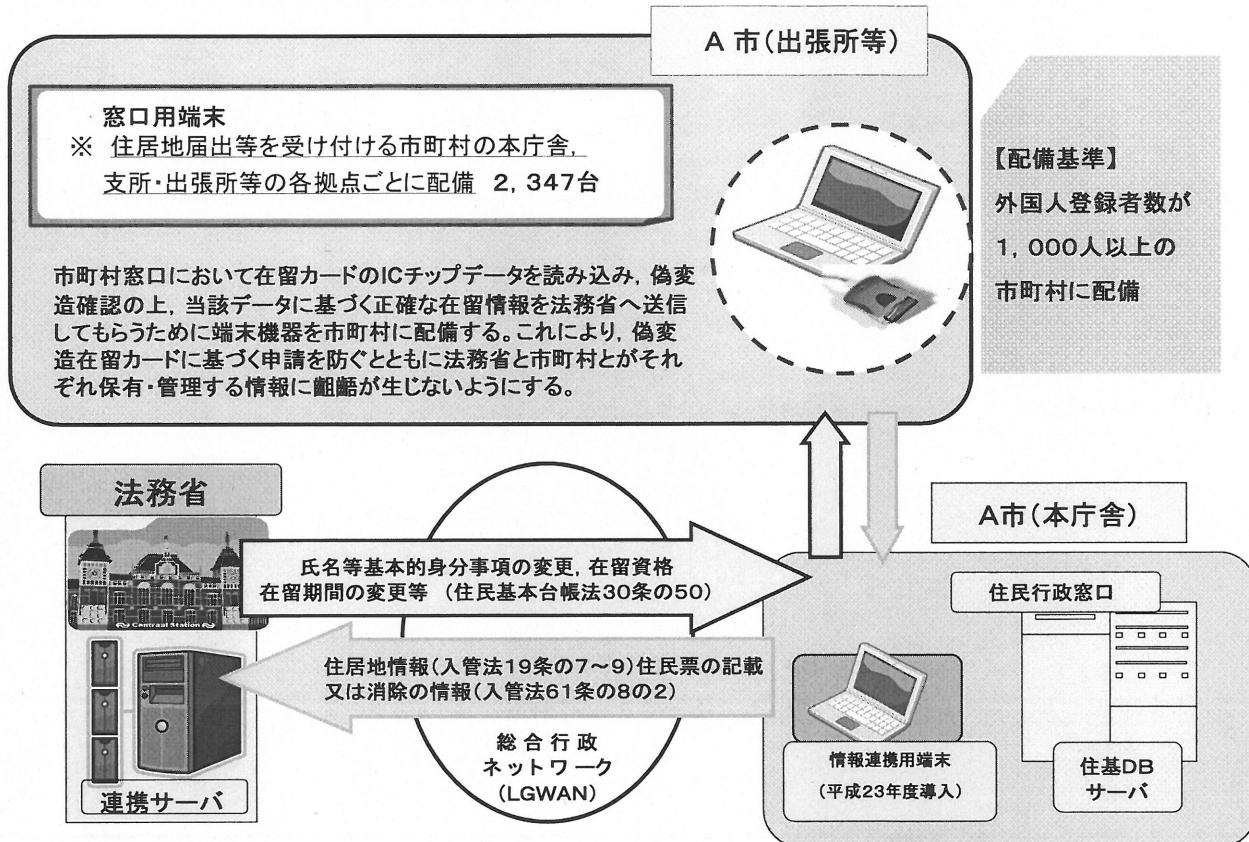
(単位:億円)

事項	補正予算額
契約段階での歳出効率化(システム関係など)	17.7
事情の変更による歳出減(見込み件数の下振れなど)	4.0
合計	21.7

## 新たな在留管理制度導入に伴う市町村における業務環境整備

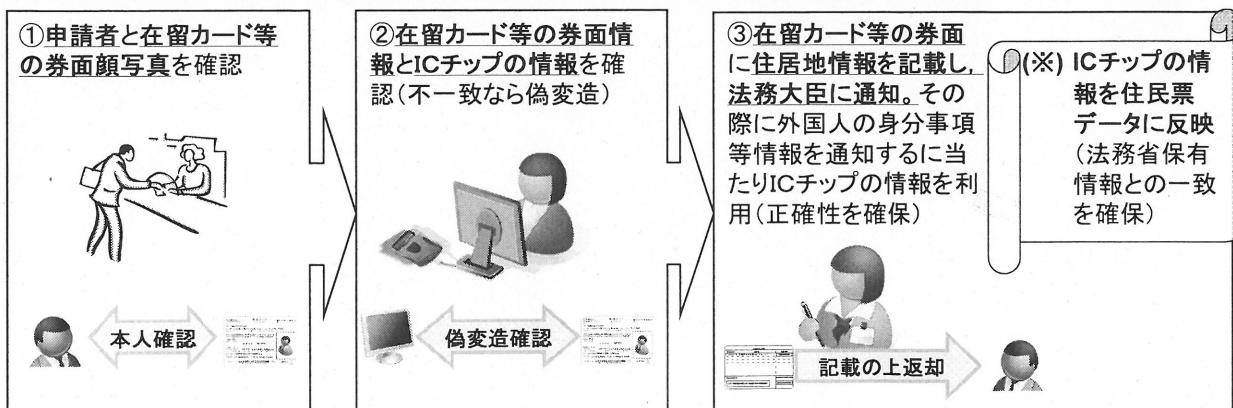
5. 2億円

### 新たな在留管理制度導入に伴う市町村における業務環境の整備の概要



### 住居地の届出等に係る市町村(本庁舎、支所・出張所等)窓口の運用について

#### 在留カード等の偽変造確認に係る事務の流れ(イメージ)

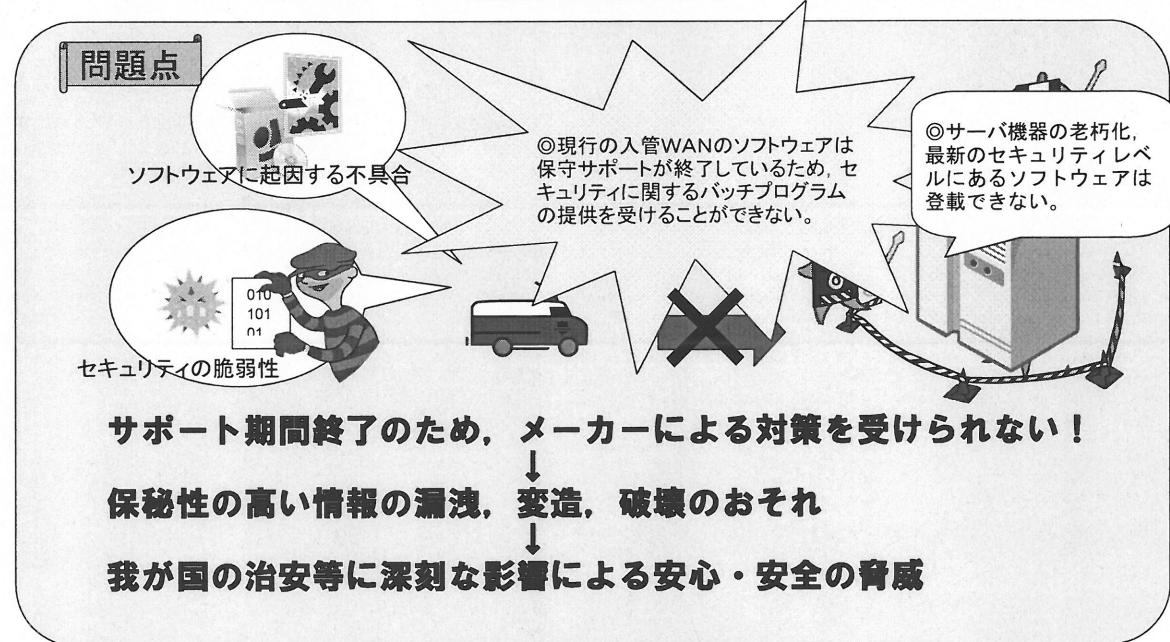
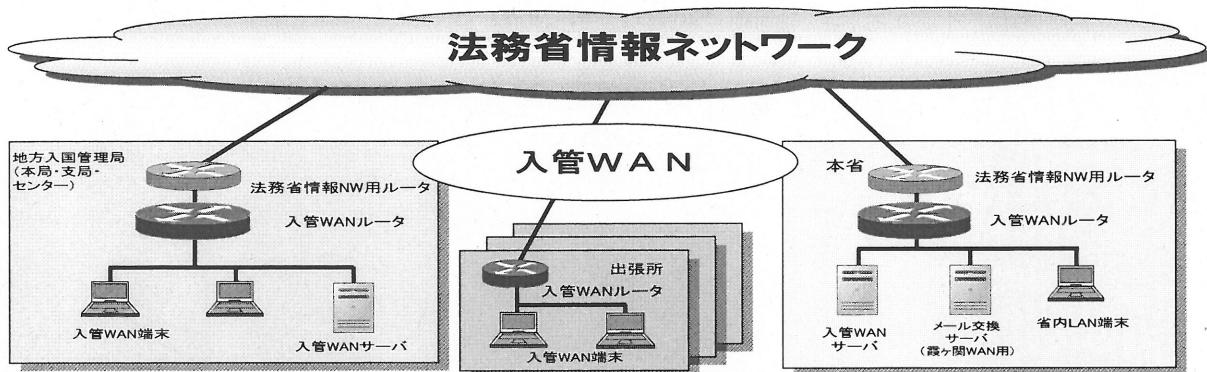


# 入国管理局通信ネットワーク（入管WAN）の更新

1. 8億円

入管WANとは？

入管WANは、法務本省の入国管理局、全国の出先機関である地方入国管理局、その支局及び出張所、入国管理センターをLAN/WANで接続した一般行政事務の基幹ネットワークシステムである。



## 解決策

- 入管WANサーバの更新
- ソフトウェアのバージョンアップ (セキュリティレベルの向上)



不正プログラムの進入防止、セキュリティの強化

# 刑事施設の緊急整備

## 現 状

### ～長野刑務所処遇管理棟の整備～

●計画定員：1,260人 職員定員：254人 ○収容区分：A指標（犯罪傾向が進んでいない者）

○建築年次：昭和28年度～ ○構造：CB造

※処遇管理棟はCB造2階建てであり、明らかに耐震強度不足、かつ耐震補強もできない構造である。

#### 【改築状況】

○平成15年度補正予算 収容棟等整備（収容人員200人分）

○平成16年度補正予算 収容棟等整備（収容人員280人分）

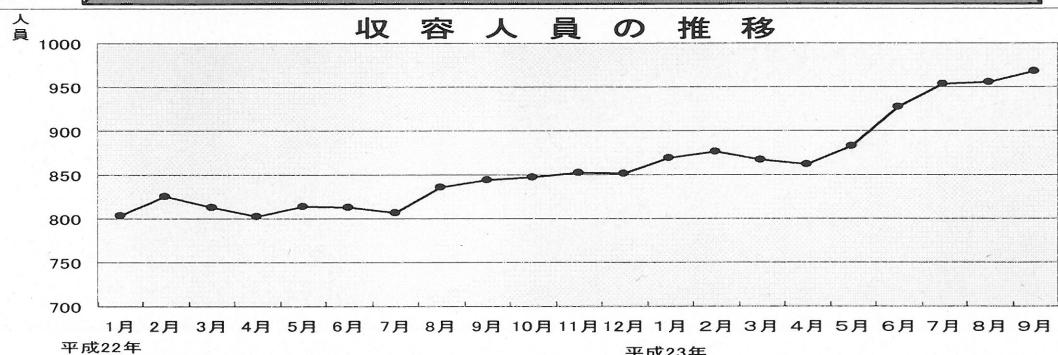
○平成18年度補正予算 収容棟等整備（収容人員71人分）

●平成22・23年度当初予算 総合管理棟等の設計

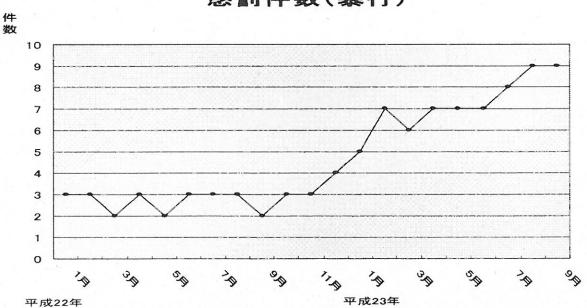
収容定員を拡大し、職員を増員してきたが、保安警備機能の根幹となる処遇管理棟は従来のままであり、機能不備が著しい状態

## 問題点

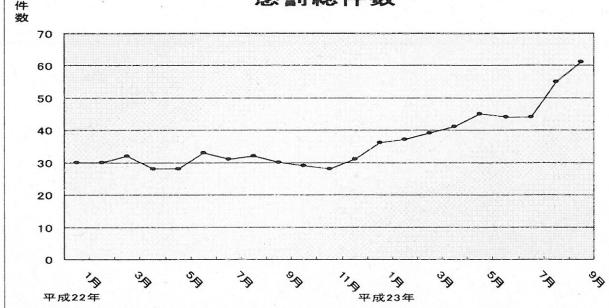
### 長野刑務所収容人員及び保安事故件数の推移[H22.1～H23.9]



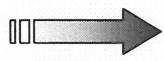
懲罰件数(暴行)



懲罰総件数



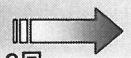
① 収容人員が増加、受刑者による暴行等の保安事故が急増



必要な保安警備体制の構築が急務

② 【長野県北部地震 平成23年3月12日発生 震度6強】

余震 本年6月 4回 ⇒ 8月 2回 ⇒ 10月以降(11月21日現在)12回



CB造の老朽化した建物が、更に損傷を受けている。

## 対 策

保安警備機能を維持・強化するため、緊急的に対応すべきものとして、処遇管理棟を建替える必要がある！

法務省施設費 11.9億円

# 東京拘置所警備機器等主幹システムの更新

○沿革 → 平成8年10月 全体改築工事着工

平成15年3月 中央管理棟・南収容棟収容開始

平成19年3月 北収容棟収容開始

～現在 外構工事等継続中

施設の主幹となるシステムの運用開始



東京拘置所

○施設の設置目的

→ 東京都23区内の被疑者及び被告人並びに関東甲信越1都10県の控訴・上告被告人を収容し、逃走及び罪証隠滅の防止を図るとともに、その防御権を尊重しつつ、未決拘禁者としての法的地位に応じた適正な収容生活を確保することを目的として設置された刑事施設

○特徴 → 首都圏の治安を支える我が国最大の拘置所

保安・警備システムや生活・収容関連システム等により施設機能を維持

施設の保安警備、被収容者の生活、外部交通等をシステムで統制

## 現状と問題点

### 監視カメラシステム



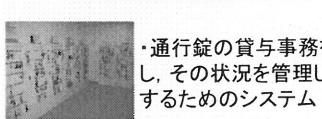
・被収容者の居室監視カメラ、廊下、外構等監視カメラを制御し、運用するためのシステム

### ① 総合監視システム

### 電気錠制御システム



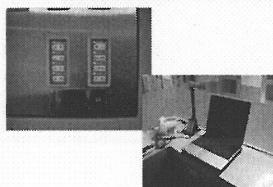
・施設内の各所へ移動する際に通行錠と併用して生体認証により施錠された扉を開錠するための電気錠を制御し、運用するためのシステム



### 通行錠管理システム

・通行錠の貸与事務を機械化し、その状況を管理し、運用するためのシステム

### ② 被収容者行先表示システム



・被収容者の居所(居室、入浴、運動、面会等)を把握し、各種事務を効率化するとともに、立体的な高層施設における被収容者の動きを把握するためのシステム



・被収容者に対する領置物品の保管、交付、引渡し等の領置業務を管理し、運用するためのシステム

### ③ 領置物品自動搬送システム

### ④ 無停電電源装置(UPS)



・施設が停電になった場合でも、システムの強制シャットダウンを阻止するため、電気を供給する装置

○ 各システムは、整備後9年目を迎えており、既に交換部品が欠品となっている。

○ 保守管理業者から今後の保守について、継続が難しい旨の報告を受けている。

○ 経年劣化により、サーバに損害が発生。

○ 停電が発生した場合、UPSの劣化により、システムに電気の供給ができない。

## システムに異常を来たした場合、施設運営に重大な支障発生

## 対策

経年劣化により障害が発生し、施設運営に支障を来たすおそれがある機器について、緊急に更新・整備する。

【更新対象】総合監視システムセンター装置、同映像蓄積サーバ、同監視モニター、同監視カメラ、行先表示システムサーバ関連機器、同制御機器、領置物品自動搬送システムサーバ、無停電電源装置

補正計上額

10.5億円